



矢幅駅前の駐輪場で、施錠の  
状況を調査する参加者ら

紫波地区地域安全推進協議会（会長・高橋町長）の「鍵をかけてくれてありがとう運動」は7月15日、矢幅駅周辺で行われました。町内の防犯団体や不来方高校から34人が参加し、自転車の施錠を呼び掛けました。参加者らは、駅の駐輪場にある自転車を点検。施錠の有無やツールロックがされているかなど、状況別に台数を確認しました。また、駅利用者へポケットティッシュなどを配り、施錠を呼び掛けました。同校の阿部賛君（3年）は「盗難に遭わないよう、施錠を徹底してほしい」と話していました。

### 鍵をかけてくれてありがとう運動 自転車盗難被害の防止へ



施錠を呼び掛けるチラシ  
入りのティッシュを配布



県道沿いの花壇に  
花苗を植える町民ら

夏の花いっぱい運動が6月26～28日、県道不動盛岡線の矢巾スマートインターチェンジ上り入口付近から南へ約2.7キロの区間で行われ、町民延べ500人が沿道に苗を植えました。南矢幅4区の高橋征知区長は「花植えを楽しみにしている住民もいる。花壇が道路を通る人の目の保養になれば」と話していました。

### 町に鮮やかな彩り 夏の花いっぱい運動



芝生広場でヨガを楽しむ  
青空ヨガの参加者ら

ウェルベース矢巾  
芝生の上で「青空ヨガ」  
ウェルベース矢巾主催の「青空ヨガ」は6月21日、さわやかハウス前の芝生広場で行われました。町内外から29人が参加し、晴天の下で伸び伸びとヨガを楽しみました。参加した高橋菜々美さん（矢巾中3年）は「外でのヨガは開放感があり、温かくて気持ちよく取り組みました」と話していました。





キリバスの特徴から環境問題の重大さを説くケンタロ・オノさん



オノさんの講演を聞く児童ら

**海から環境問題学ぶ  
不動小で講演会**

不動小学校で7月14日、地球温暖化に関する講演会が行われました。5年生の環境学習「地球温暖化を防ごう隊」の一環で、36人が出席。太平洋中部にある島国・キリバス共和国に20代で帰化したケンタロ・オノさん（仙台市出身）が、同国の生活を支える海と温暖化との関わりなどについて、講演しました。

オノさんは、同国の主要産業が漁業、主な食材が魚介類で、海が重要な資源であることを紹介。その上で、温暖化や気候変動などの環境問題が、国の存亡に直結することを指摘しました。

オノ氏は「人間が引き起こした問題。私たちが解決しないといけない」と力説。

同校の佐藤あさひさんは「車をなるべく使わないことや、給食を残さないなど、普段の生活から環境を意識したい」と話しました。



演奏を披露する村野井さん、三神さん、伊禮さん（左から）

**三神さんら三重奏披露  
公民館でミニコンサート**

町主催のミニコンサートは7月5日、町公民館で行われました。三神樹美さん（ピアノ）、村野井友菜さん（フルート）、伊禮しおりさん（バイオリン）が出演。来場した18人を三重奏で魅了しました。

町内在住の三神さんは「久々の演奏を自分たちも楽しめた」と話しました。



麦の収穫に取り組む藤原聖浩さん

**麦秋、爽やかに  
白沢で「ゆきちから」収穫**

6月下旬から7月に掛けて小麦の収穫時期を迎え、各地で黄金色に染まったほ場で作業する、農家の姿がみられました。

白沢中央営農組合（村松徳志郎組合長）は7月3日、栽培している「ゆきちから」の収穫を実施。同日は梅雨の晴れ間となり、組合員は作業に汗を流しました。